



発行・障害者スポーツ会
京都スポーツ振興
題字 芝田 徳造

二十五周年を迎えたスポーツセンター

公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会
理事長 芝田徳造

昭和五十六年（国際障害者年）の四月、KBSテレビが三十時間テレソン（テレビマラソン）を実施しました。特別ゲストに女優の宮城まり子さんとねむのき学園の生徒さんも迎えました。

そしてテレソンのテーマは「京都に障害者スポーツセンターを造ろう」で、番組の進行と共に京都府内全域に募金箱が設置され、六千万円が集まり、それをKBSの役員が京都市長に「これをスポーツセンター建設に役立ててください」と届けられたのです。時は国際障害者年、八年後には「京都国体」の開催も決定しており、国体の後では「全国身体障害者スポーツ大会」実施も当然必要です。つまり、スポーツセンターの建設には最大の

好条件が整っていたのです。また、それ以前から多くのことから「温水プールのある、いつでも行けるスポーツ施設が欲しい」との強い願いが寄せられていました。

京都市は、この願いをしつかり受け止めて施策化、さらにこれを京都市議会も満場一致で応援の結果、昭和六十三年三月に温水プールが完成。同年秋の第二十四回全国身体障害者スポーツ大会（愛とふれあいの京都大会）水泳競技会場として、全国から選手を招き入れたのです。

その後、三年間をかけて、体育室その他を建設して本格的運用を開始し、今年二十五周年を迎えました。このセンターは、より重度の障害児者の利用を前提として、他施設にはない工

夫が建設当初からなされていきます。その一例としてプレイルームとは別に重度体育室の設置、全国最初の親子更衣室、さらに排便自立の出来ていない人を念頭に置いた円形小プールなどがあります。

また、「温かさを体感できるセンターを」との私達の願いにも、当時の京都市建設担当者は精一杯応えてくれました。それが玄閣上部やプールの明るいい壁画であり、床・腰板・柱・手すりへの木材の使用、キメ細かいトイレへの配慮に表れています。これらの施設を最大限に活用し、障害のある人々やご家族が「ここへ来るとホッとす

る」と思ってもらえるような「温かい日本のセンター」を目指して職員は日々努力を続けています。また、当センターは設立以来、重度障害者への配りを大切にしてきました。その表れとして「障害者シグネクロナイズドスイミングフェスティバル」への支援（現在までに二十二回開催）、最重度障害児者にも実施可能な「ハロウィック水泳法」の普及活動への側面援助（二十五年間）を、センターの重要施策として継続実施してきました。

この両事業については、当センターが日本の中心基地としての役割を現在も果たしています。

なお今年度は、「センター開設二十五周年」を大きな飛躍の年と捉え、これまで手作りで実施してきた取り組みをさらに充実・発展させた事業や、創意工夫を凝らした新規事業等に合わせ、二十四事業を、二十五周年記念事業として積極的に展開しています。

（裏面へ続く）

「障害者 水泳のつどい」
中止のお知らせ
台風18号で伏見港公園プールに隣接する濠川が氾濫し、プール・テニスコート・機械室が水没し現在休館しています。復旧するまでの間「障害者水泳のつどい」を中止します。

行事予定	10月	19(土)	ほほえみ広場2013 車いすハンドボール審判講習会②	梅小路広場 京都市障害者スポーツセンター	来月のつどいは 11 / 10 第2日曜日
		20(日)	第36回府民総体交流種目卓球バレー大会	京都市障害者教養文化・体育会館	
		26(土)	車いすハンドボール審判講習会③	京都市障害者スポーツセンター	
			与謝野町障害者スポーツのつどい	加悦地域公民館	
	27(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽		
	11月	2(土)	車いすハンドボール審判講習会④	京都市障害者スポーツセンター	
9(土)		車いすハンドボール審判講習会⑤	京都市障害者スポーツセンター		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2013年9月29日に一部更新)					

(表面より)

さらに、次の三事業は、記念事業の中でも格別のものとして行われました。一つは例年の夏祭りに先立って行われた「二十五周年記念式典」です。京都市藤田副市长以下三十三名の来賓(当センターに格別関連のある行政・団体・施設の方々)にご出席いただき、市長式辞・来賓祝辞・感謝状の贈呈(二十三団体)が行われました。

次がノーマライゼーションの観点から、例年行われている「バレーボール大会」前日(八月三十一日)の「バレーボールクリニック」です。京都府バレーボール協会と共催事業で、日本実業団トップクラスの富士通テン女子バレーボールチームの監督・選手達から一四四人(内七九人子供)が指導を受け、さらに日本女子シッティングバレーボール代表選手との親善試合まで行われました。

最後が「文化芸術祭」(九月二十三日)です。京都市立芸術大学(金管アンサンブル)や、地域で音楽や芸術活動をしている人々、センターのよし笛教室参加者などに素晴らし

い演奏をしていただきました。

当センターは、今後より一層京都における障害のある人々のスポーツ活動の拠点として、またノーマライゼーション運動の推進拠点として、積極的な役割を果たして行きたいと考えています。

つどい参加者に名札

つどい受付担当

堀川和代

このたび「つどい参加者の名前を知りたい!」ということからはじまって、参加者にも名札を付けていただくことにしました。

参加者には受付で参加カードを提出していただいています。参加者全員の名前を覚えることは難しかったのです。また、スタッフが名札を付けているのを見て、自分達も名札を欲しいという参加者もいました。参加者同士なかなか名前を聞きあえないこともあります。そこで、参加者に名札を準備することにしたのです。名札といっても、スポーツをしながら使うものな

ので、見やすさや使いやすさと同時に安全性のあるものにしなければなりません。スタッフで検討した結果、7月のつどいでは、タックシールに名前を書き、好きな場所に貼っていただくようにしました。もちろん、名札が苦手な参加者には強制していません。ところが、受付でシールに名前を書いてもらうので、受付付近が大変混雑し

てしまいました。そこで、翌8月には名札ホルダー(首からぶら下げて使うタイプのもの)の裏にマジックテープを付け、マジックテープの一方に両面テープを貼り、衣類に貼るものに変更しました。両面テープだけだと安全面はクリアできて、翌月のつどいで使おうとすると、両面テープとホルダーが強力にくっついてしまっているの使

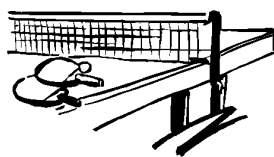
えなくなりません。マジックテープを使うと、衣類にくっつくと、剥がれてしまつて直ぐに剥がれてしまつてしまった欠点があります。使い始めて2ヶ月で、まだまだ工夫する余地があります。使ってみた感想を是非聞かせて下さい。

『障害者スポーツのつどい』ボランティア体験会

～一緒にスポーツを楽しみませんか!～

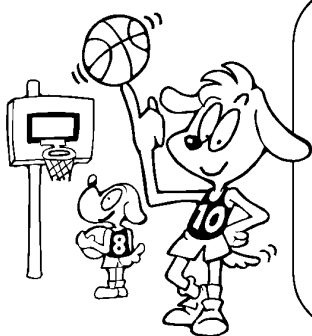
主催 京都府立体育館
京都障害者スポーツ振興会

日時 : 2013年11月10日(日)
12:30~16:30
場所 : 京都府立体育館



申込方法 : 府立体育館へ電話申し込み
締め切り : 11月9日(土) 15:00まで

主な種目 : 車いすハンドボール・バドミントン
トランポリン・風船バレー・卓球・輪投げ
卓球バレー・バスケットボール など



年齢・性別は問いません

- *障害のある方のスポーツ場面を支えたい!
- *障害のある方とスポーツをしてみたい!
- *障害のある方ってどう関わったらいいの? と思っている方なら大歓迎です!



お問い合わせ

京都府立体育館
電話 (075)462-9191
FAX (075)462-9192

京都障害者スポーツ振興会
電話・FAX (075)712-7010
HP <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/>

HP <http://www.kyoto-furitutaikukan.jp/>

京都府立体育館

京都障害者スポーツ振興会

検索する